

外国人日本語学習者のために日本語を調整する「やさしい日本語」の社会啓発に 2016 年から取り組んでまいりましたが、その過程で、ろう者にも外国人と同様の理由で日本語を苦手とする人がいるということ、そして、手話が 130 年間もろう教育の場で禁止されてきたことなどを知り、大変な衝撃を受けました。それ以降、やさしい日本語の講演では必ずろう者の事情を紹介してきました。これが高い評価を受けてきたことからさらに勉強を進め、今回出版という機会に巡り会うこととなりました。

手話もできず、ろう教育に関する資格も経験もない私ですが、「日本語教育関係者・やさしい日本語推進者は、ろうコミュニティの味方になれる」と信じ、以下の2つのことを世に問いかけるために執筆を決意しました。

- ① ろう者のかかえる生きづらさを、やさしい日本語を含む外国人への多言語対応の社会的盛り上がりの中に位置付けて解決していきたい
- ② 第二言語としての日本語を教える日本語教育関係者が、ろう児への日本語教育に貢献できることがあるのではないか。教材開発や指導で手伝えることがあるのではないか。

本書をめぐって、さまざまな議論が起きるだろうと思っております。不勉強ゆえに多くのご指摘もあるかもしれませんが、ぜひ皆様にも率直なご意見をお聞かせいただきたいと思います。ご友人などにシェアしていただく他に、以下の電子メールアドレスまでご遠慮なくご感想をお聞かせいただけますと幸いです。



なお、特定非営利活動法人インフォメーションギャップバスター伊藤芳浩理事長のご協力を得て、伊藤様との刊行記念対談を手話通訳付きビデオとして公開します。(11月16日正午に正式オープン。それ以前からもご覧いただけます)。QRコードからアクセスしてください。<https://youtu.be/397LKOCvsZ4>

2021年11月

株式会社電通 電通ダイバーシティ・ラボ
やさしい日本語プロデューサー 吉開 章
a.yoshikai@dentsu.co.jp

